

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室そらまめキッズ谷山			公表日		R8年 2月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に合わせて部屋を変えています。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個々の状態に合わせて変更等行っています。今後も工夫を行いながら進めて参ります。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの状態に合わせて刺激量の調整を行っています。	バリアフリーなどの環境が充実しているとは言えないため、今後安全に活動できるよう検討して参ります。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動の内容に合わせて、部屋のパーテーションを移動したり、家具やマットの配置を変えたりしながら使用しています。	今後も全職員で整理整頓しながらより良い環境づくりに取り組んで参ります。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの特性や活動に合った部屋割を行っています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な研修、話し合いの場が設けられています。	今後も周知の徹底に努めて参ります。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年のアンケートでの意見の反映や、定期的に事業所内での相談を実施し、保護者の意見を聞く機会を設けています。	アンケート結果をもとに、今後も事業所運営を行っていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児発管との面談や、スタッフ間での話し合いの場が設けられています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	公開療育を行っています。	今後、改善点等も含めた意見交換会に取り組んでいきたいと思います。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な研修の機会（全体研修、事業所内研修）があります。	今後も研修機会を設け、資質の向上に取り組んで参ります。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			現在作成中です。HP等に掲載する予定です。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的な事業所内での相談を実施するとともに、スタッフ間での情報共有の機会も多く設けています。	今後も保護者様と連携を図り、計画書の作成に取り組んでいきます。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		責任者とスタッフが日々子どもの情報交換を行いながら作成を進めています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に沿った支援の組み立てに加え、定期的に実施されている事業所内での相談にて支援内容の確認を行なっています。	今後も連携を図りながら取り組んで参ります。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		AF分析等を行っています。				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		全ての項目を記載しており、ねらいに沿った支援が提供できるよう努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			今後より一層チームでの立案に注力していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週ごと月ごとの活動計画を立てることで、固定化しないように努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には個別支援ですが、子どもの特性やねらいに応じて複数人での支援も実施しています。	個々の発達に合わせた支援の提供を行っていきけるよう、柔軟なプログラム作成を行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		話し合いを意識して日々支援に取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		昼礼や終礼にて、子どもの様子の報告だけでなく、相談の場を設けています。	時間が長時間化してしまうこともあるため、時間を決め業務改善に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々支援内容を細かく記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的な見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		地域交流の機会の提供の機会がすくなかったものの、それ以外は、取り入れられていると感じています。	利用児によっては偏りが見られることもあるため、バランスの良い支援に繋げて参ります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選択肢を複数提示するなど、自己選択が行えるように工夫をしています。	今後も継続して積極的に取り入れて参ります。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理責任者を中心に、利用児をよく理解した担当者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		紹介状の作成やリハビリの内容について連絡を取ることがあります。	医療機関との連携が少なく、今後連携を深めていくのが課題です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		評価シートなどを通じて、連携をとっています。	更に連携を深めていけたらと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			連携を図る機会が少ないため、今後連携が回りやすい方法を検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象の利用児はいらっしゃいません。	今後必要に応じて連携を図って参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修案内などを頂いています。	研修の参加はできていないので、今後積極的にセンターと連携を図って参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		併用利用しているお子さんは機会を確保できています。	事業所としての関わりはないため、今後法人として検討して参ります。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者が参加できる体制を整えています。	管理者が参加しており、スタッフによっては分かっていないものもいたため、周知の徹底を行っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎支援ごとに口頭やHUGアプリでフィードバックを行っています。また、事業所内相談を定期的に実施しています。	今後も事業所内相談を定期的の実施するとともに、保護者が相談しやすい環境づくりにも努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		上半期・下半期に分け参加機会を多く設けています。	仕事を抱えている保護者の方には参加しにくい時間帯もあるため、今後開催日時の検討を行ってまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学时、契約時に説明を行っており、また変更時にも都度説明を行っています。	初回に説明することが多く、忘れてしまわれる方もいらっしゃるため、保護者の目に入る棚などへの掲示を行って参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に事業所内相談を実施し、話し合いの機会も多く設けて意向を確認しています。	今後も意向をしっかり把握したうえで、作成を行っていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		対面で説明を行って同意を得ています。	アプリからもいつでも内容を確認できる体制を今後も継続して参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談を設け、家庭での取り組みに必要な教材等の提供も行っています。	今後もご家族様に寄り添った支援が提供できるよう取り組んで参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		ペアレントトレーニングやイベント等で、他の家族との交流の場が設けられています。	イベントに兄弟児も参加し交流の機会はあるものの、頻度としては少ないため今後も機会を設けていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合、すぐにスタッフへ周知し対応策を検討しています。	苦情の件数が少ないため、拾っていないご意見もあるかもしれないことから、意見を言いやすい環境や取り組みを検討して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを通じて情報を発信しています。	今後も継続して参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		カギ付きの保管庫で管理しています。	今後も取り扱いに留意して参ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		PECS®や視覚支援を用いています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域の方との関わりは少ないため、今後開かれた事業所運営を図って参ります。
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを事業所待合に掲示するとともに、地震、洪水、防犯、引き渡し訓練を実施しています。	今後も継続して参ります。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		防災グッズを手に取りやすい場所に備えているとともに、訓練を定期的の実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		てんかん発作については非常時の対応も含め確認しています。	風邪薬の内服や予防接種については把握しきれていない面もあります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はありませんが、食品を扱う際には、対象児の保護者へアレルギーの確認等も含めて許可を得ています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、AEDの訓練についても全職員が受講しています。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		訓練を定期的に行い、結果について保護者へ周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		情報共有、対策等の話し合いを実施しています。	再発防止策を講じた後の、振り返りの評価は不十分なため、今後積極的に実施していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修が開催されています。	今後も早期発見に繋げられるよう取り組んで参ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		該当の利用児はいませんが、身体拘束についての研修が開催されています。	